

JAPAN AERONAUTIC ASSOCIATION

令和 7 年 6 月 30 日

NEWS RELEASE

一般財団法人日本航空協会

No. 236

担当：航空遺産継承基金事務局

荏田、堤

TEL 03-3502-1207 FAX 03-3503-1375

低騒音 STOL 実験機「飛鳥」を重要航空遺産に認定

当協会では、歴史的文化的に価値の高い航空遺産を「重要航空遺産」として認定し、その意義を広く皆様に知っていただくとともに、後世に遺していくため「重要航空遺産認定制度」を平成 19 年に設立いたしました。

平成 20 年に国立科学博物館が所有する「YS-11 輸送機量産初号機」および埼玉県が所有する「九一式戦闘機」を初の「重要航空遺産」として認定して以来、これまでに 12 件の航空遺産を重要航空遺産として認定いたしました。

当協会の航空遺産継承基金の専門委員会において、重要航空遺産に相応しいものを慎重に選考しました結果、このたび下記を「重要航空遺産」として認定することといたしました。

認定および認定証の贈呈を下記のとおり行う予定であります。

記

1. 認定内容

認定対象：低騒音 STOL 実験機「飛鳥」

所 有 者：宇宙航空研究開発機構（JAXA）

展示場所：岐阜かかみがはら航空宇宙博物館（岐阜県各務原市）

認定理由：科学技術庁航空宇宙技術研究所（現 JAXA）が国内航空機メーカーの協力を得て開発した低騒音 STOL 実験機「飛鳥」は、短距離離着陸技術やコンピュータによる飛行制御技術などを飛行実証し、STOL 機開発に必要な設計資料等を取得した。これら新技術は後の国産機開発に大きく貢献した。また、搭載された純国産ファンジェットエンジン FJR710 エンジンの技術は、後の国際共同開発エンジンに参加する礎を築いて、日本の航空技術の発展に大きく貢献した。「飛鳥」は 1 機だけが製造された希少な存在であり、飛行実験当時の状態をよく残している。これらのことから、本機は極めて貴重な航空遺産といえる。

2. 認 定 日：令和 7 年 10 月 25 日（土）

3. 贈呈式日時、場所

日 時：令和 7 年 10 月 25 日（土） 調整中

場 所：岐阜かかみがはら航空宇宙博物館

〒504-0924 各務原市下切町 5 丁目 1 番地

電話：058-386-8500

電子メール：sorahaku@sorahaku.net

ご担当：柳瀬、安福

4. 添付資料

1) 重要航空遺産認定理由

2) 写真

5. 取材等、本件に関する問い合わせ先

一般財団法人日本航空協会

担当：航空遺産継承基金事務局

荻田 重賀（かんだ しげよし）、堤 宇叶（つつみ うきょう）

TEL 03-3502-1207 FAX 03-3503-1375

電子メール isan@aero.or.jp

これまでに認定した重要航空遺産は当協会 HP をご参照ください。

<http://www.aero.or.jp/isan/heritage/aviation-heritage.htm>

以上

低騒音 STOL 実験機「飛鳥」

重要航空遺産認定理由解説

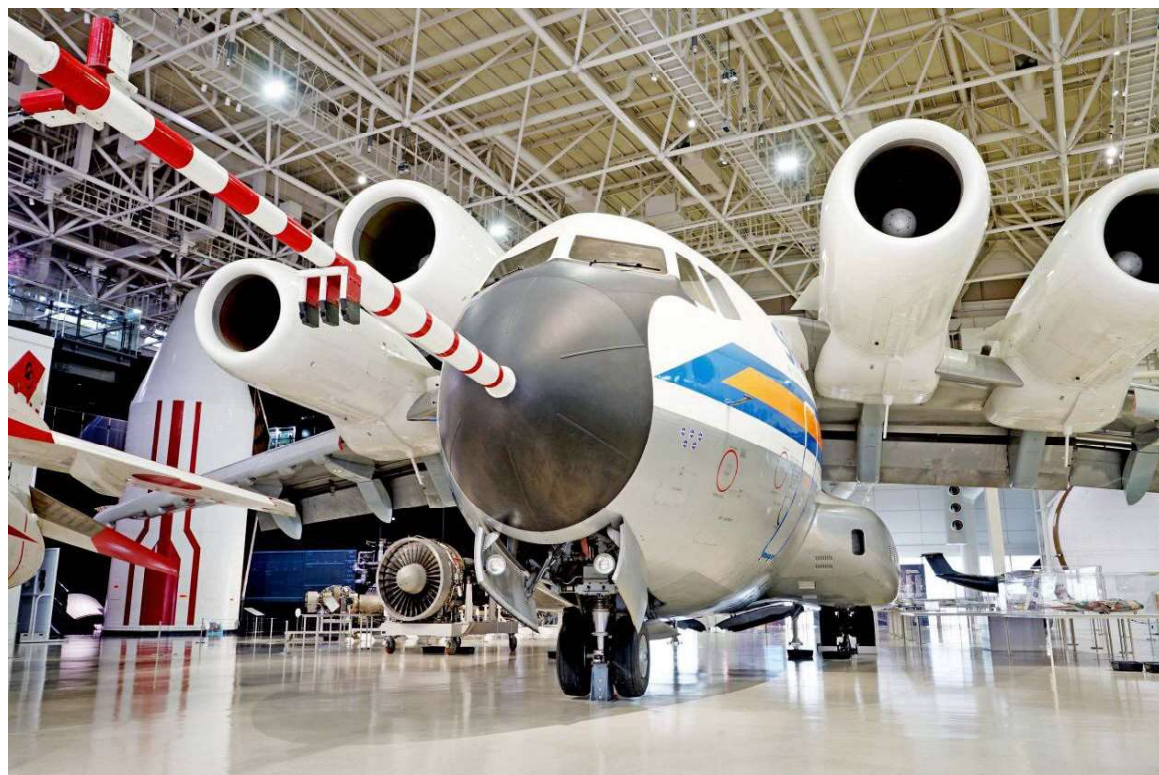
1970 年代に入り空港周辺の騒音問題の解決や空港の拡張や新設の困難性などの状況の中、短距離で離着陸でき騒音の影響を減少し得る STOL 輸送システムの技術を早急に確立することが必要と考えられた。1975（昭 50）年、航空技術審議会の建議「我が国に適した STOL 輸送システムの具体的推進方策」に基づいて、国家プロジェクトとして科学技術庁航空宇宙技術研究所（現：JAXA）によって STOL 実験機の研究開発が開始された。

実験機は国内航空機メーカー 5 社とエンジンメーカー 3 社の協力を得て完成し、1985（昭 60）年 10 月 28 日に初飛行した。国産の C-1 輸送機を原型機として、国産の FJR エンジン 4 基を翼の上に搭載した。エンジン排気をフラップに沿って下向けに曲げ、高い揚力を得る USB（Upper Surface Blowing：翼上面吹き出し）方式の高揚力装置やコンピュータによる飛行安定装置など各種の新技术を採用した。1989（平成元）年 3 月 30 日まで飛行試験が行われた。

本機の飛行試験によってコンピュータ飛行制御技術、複合材技術などの各種新技术の効果と実用性が飛行実証された。これらの各種新技术は飛鳥プロジェクトに参加した航空機メーカーの技術者を通して後の US-2 などの国産機開発に大きく貢献した。また、飛鳥に搭載された我が国初のファンジェットエンジン FJR710/600S の技術は、V-2500 などの国際共同開発エンジンの端緒となったほか、後の国産エンジン F-3、F-7 などの開発に大きく貢献した。

「飛鳥」はかかみがはら航空宇宙博物館の開館以来、同館内に保存され、飛行実験の歴史を伝える装備をよく残していることも貴重である。

添付資料 2



機体全景（写真提供：岐阜かかみがはら航空宇宙博物館）



正面から撮影（写真提供：岐阜かかみがはら航空宇宙博物館）



左側面から撮影（写真提供：岐阜かかみがはら航空宇宙博物館）



左後方から撮影